

公務員人件費の実態 月給の約20倍が年収

■昨年の冬のボーナス支給は全労働者の半分だったと言われています。上場企業だけでも15%のボーナスカットという惨状■ひるがえって世田谷区の公務員の年収はわずか2.6%カット■上場企業並みの給与体系であり、本紙オモテ面の通り税収がこれほど落ち込んでいるにもかかわらず、カット額は民間並みではありません■しかし本紙オモテ面にも書きましたが、このままでは、あと3年で区の貯金も底をつき、税金が足りなくなります■早晚、公務員の人件費には手をつけなくてはなりません。

かまどの...とは



正規職員の代わりに非常勤増やしたら人件費アップの怪

人件費544億円の内訳

正規職員 476億円 (前年度比-4億円)
非常勤職員 68億円 (前年度比+8億円)
544億円 (+4億円)

■平成22年度予算における人件費は544億円。正規職員が43名減の4958名となり4億円の減少となったものの、非常勤職員費は逆に8億円も増加する。差引き4億円の増という、あべこべの結果に■およそ民間では考えられないこと。

保育サービスの 充実にも110億投入

23区最大



23区の4月入園者数

区	申込数	前年比	待機児対策予算
千代田	192人	52人	1億
中央	636人	42人	16億
港	1531人	186人	13億
新宿	985人	102人	19億
文京	895人	-21人	1億
台東	707人	-22人	1億
墨田	1389人	70人	11億
江東	3150人	210人	13億
品川	1786人	253人	7億
目黒	1088人	85人	10億
大田	3130人	250人	22億
世田谷	3854人	478人	110億
渋谷	844人	112人	2億
中野	1067人	203人	7億
杉並	1936人	139人	6億
豊島	810人	-48人	2億
北	1211人	85人	8億
荒川	1096人	73人	2億
板橋	2682人	95人	2億
練馬	3217人	278人	6億
足立	3436人	338人	20億
葛飾	2186人	336人	3億
江戸川	3086人	113人	7億

■毎年問題となる保育園の待機児。今年の世界田谷区の保育園の入園申込数は前年比で14%増の3854人■人口が都内一番ですから人数も多くなります■しかも22年度予算はダントツの110億

他区に比べて5倍~10倍の予算

円を計上。定員枠を1484名分増のため20カ所の保育園を作ります■そのほかにも病児・病後児保育も1カ所増で区内は7カ所に。24時間対応型延長保育も「育成しせい保育園」で実施。

※23区比較は東京新聞参照

保育園需要はますます増える UP

■世田谷区内の保育園の需要は増える傾向にあります。不況で働かざるを得ない人の増加はもちろん、さらに働く女性の増加が背景としてあります■どちらかと言えば世田谷区は在宅で子育てが多かった分、今後はますます保育園の需要は多くなると言われております■22年度は小学校や公園等の一部の区有地を利用して保育園を増設しますが、求められる地域にあってこそ保育園は意味があるので、場所さがしが難渋しているようです。(保育園は福祉施設なので基準や規制が厳しい)

公務員の実態

公表された給与 ではわからない

年齢50代
子供一人

平均ではわからない

世田谷区職員の平均年齢と平均給料
(平成20年4月1日現在)

平均年齢	平均給料月額
44.1歳	360,733円

毎年12月の区の広報でこの数字は公表されるが実態を伝えていない!

■左は公表されている職員給料ですが、実際のところ平均というのは区民からすればピンときません■そこで現職の課長の給与を調べました。年齢は50代で子供一人の3人家族ということです。

ある課長の実例 (6級90号)

年齢	給料月額
50代	457,700円



「世田谷区人事行政の運営等の状況」で検索すれば詳しい内容が見られます!

これが公表されている数字ですが...

月給45.7万円で年収1077万!

管理職でなくとも50代でほぼ全員が係長級で退職という公務員の世界

■この課長の給料は45万7700円ですが、年収では1077万になるのです■下にその計算式を載せましたが、給料のほかに様々な手当、管理職手当が加算されます■期末・勤勉手当はボーナスのことで4.3か月。

給料	457,700円 × 12月 = 5,492,400円
地域手当	80,953円 × 12月 = 971,436円
住居手当	8,800円 × 12月 = 105,600円
扶養手当	9,500円 × 12月 = 114,000円
管理職手当	91,100円 × 12月 = 1,093,200円
期末・勤勉手当	4.3月分 = 2,999,704円
合計	10,776,340円

■うっかりすると、この課長の年収は

45.77万 × (12ヵ月 + 4.3ヵ月) = 746万0510円と思わせてしまうのが、公表のカラクリなのです■実際にはその44%増し1077万もらっているのです。

給料の20ヵ月分が年収!

実質ボーナスは年8ヵ月分支給が実態

■管理職には管理職手当が、それ以外の職員には残業手当がつきます。給料の額から年収を推定するにはざっと20倍すればわかります■ちなみに一番上に載せた表の平均年齢44.1歳で36万では年収720万になります。

世田谷区職員の平均年齢と平均給料
(平成20年4月1日現在)

平均年齢	平均給料月額
44.1歳	360,733円

= 年収720万